

## 「TAKARABUNE 2025 風のカタチ 空のキオク」出展要領

- 1 展覧会名：TAKARABUNE 2025 風のカタチ 空のキオク
- 2 会期：2025年3月19日(水)～23日(日) 各日とも10時～17時30分(ただし最終日は15時まで)  
搬入・展示：3月17日(月)13時～17時30分、3月18日(火)9時30分～17時30分  
撤収・搬出：3月23日(日)15時～17時30分、3月24日(月)9時30分～12時

3 会場：埼玉県立近代美術館 一般展示室 1 (さいたま市浦和区常盤9-30-1)

4 主催：SMF (サイタマミュージーズフォーラム) \*活動記録は <http://www.artplatform.jp>参照



5 趣旨：

SMF (サイタマミュージーズフォーラム) は、2008年から2017年まで埼玉県立近代美術館が、文化庁の支援を得て実行委員会形式で行ってきた事業から生まれました。この事業は埼玉県内の5つのアート系公立ミュージアムが連携し、それぞれの館や周辺地域を含む県内各地で、館内での展示や上演にとどまらず、公園や商店街でのアートプログラム、アート散歩やアートマップ作りなど、多彩なアウトリーチプログラムを含めて、アートでまちとひとをつなぐプロジェクトでした。

この事業の実働部隊となったのがSMFです。SMFは美術、音楽、ダンス、建築、文学など、様々な分野のメンバーが集い交流する自由な集まりであり、身近な場所でアートを楽しみ、支援し、再創造するためのプラットフォームづくりをめざすプロジェクトでもあります。SMFの活動は「人々が集い参加し交流するための基地となり、地域や県民とともに進化する美術館を目指す」埼玉県立近代美術館のミッションに沿うものであり、連携する各美術館との交流や課題共有、文化資源活用に資するものです。

TAKARABUNEは、通常の団体展や公募展とは異なり、実現したいと思うアートプロジェクトの素を夢として自由に語り表現し共有する展覧会で、だれでも参加できるアートのプラットフォームをつくる活動を継続してきたSMFを象徴する企画のひとつです。本展に並んだ作品やアイデアが意外な人との出会いによって動き出し、幾つもの興味深い活動がここから発生し実現されてきました。

こうした企画を通じてアートに親しむ人たちの交流が豊かになり、埼玉県のアートシーンの人と人をつなぎ、稔り豊かな連携が構築出来ると考えています。みなさまのご来場をお待ちしております。

- 6 出展者：SMFメンバー、アート長屋入居者、協力アーティスト、他。計25名(組)を予定。  
(本展の趣旨に賛同していただける方なら、ジャンル、経験を問わず、どなたでも参加できます。)

7 出展作品：

アートプロジェクトの素となる「夢のシート」、実践したプロジェクトの「報告シート」、作品を通して夢を追求する「作品シート」など、出展者の現在地を示す「エントリーシート」を提出し展示していただきます。またこれに関連するマケットや実作品、インスタレーション、プロジェクトの記録などを展示していただきます。会場でのパフォーマンスや演奏も可能です。なお出展する作品、企画、アイデアは出展者のオリジナルなものに限ります。

- 8 エントリー受付期間：2025年1月8日(水)～20日(月)

9 エントリー用書式：

以下の2種類、SMFホームページ (<http://www.artplatform.jp>) からダウンロードできます。  
(いずれもPDF版とWORD版をアップしています。適宜ご利用ください。)

①エントリーシート（A4判縦・横のいずれかを選択）：種別の欄に「夢のシート」/「報告シート」/「作品シート」のどれかを忘れずに記入し、作成してください。提出したファイルはそのまま印刷しマウントして会場で公開されます。展示されることを想定して制作してください。

②出展者アンケート：出展者の住所・氏名・連絡先等の基本情報、出展作品の概要情報や、搬入出予定日、トークや公演希望日など希望する日程を記載してください。連絡調整用を使用いたします。

10 エントリー方法：

前項①のエントリーシートを作成、②の出展者アンケートの該当部分にご記入いただき、メールに添付して上記の受付期間中に、[takarabune2025.info@artplatform.jp](mailto:takarabune2025.info@artplatform.jp)宛てお送りください。添付ファイルの合計サイズは5メガバイト未満でお願いします。内容確認後、参加受付確認メールを返信いたします。（手書きで作成し、郵送でのエントリーも可能です。電話でご相談ください。）

11 出展料：無料（ただし記録集、ポスター、キャプション等負担金として8,000円を頂戴します）

12 関連事業：

アーティストトーク、ワークショップ、制作実演、パフォーマンス等を開催し、出展者と観客、出展者相互のコミュニケーション、交流を図り、プロジェクトの発芽を促す一助とします。また連携美術館各館とSMFが情報や課題を共有し次年度の協働を探る場を設けます。

13 記録集：

本展終了後、各出展者の出展記録をA4判2ページにまとめていただき記録集を作成、カラー印刷・製本して100部程度を発行、出展者・関係者に頒布します。またWeb上で公開します。

14 出展ご希望のみなさまへ：

①制作・搬入出・展示撤収は原則として出展者の負担・責任で行っていただきます。搬入出・展示撤収の日程をご確認ください。

②TAKARABUNEの趣旨に鑑み、開催予定のアーティストトーク、ラウンドテーブル、交流会等にも積極的にご参加くださるよう、お願いいたします。

③会場での各出展者の交流を促進するため名札にそれぞれの展示作品の写真を入れさせていただきます。後程、写真をご提供ください。

④会場運営（受付・会場係）も、SMFメンバーと出展者の共同でまかさないです。出展者の方は、3月19日～23日の会期中、会場係として少なくとも1回（約4時間、午前は9：50～13：45、午後は13：45～17：40）ご協力ください。代理の方でもOKです。アンケートでご都合を伺い、日程を調整いたします。

15 問合せ：メール [takarabune2024.info@artplatform.jp](mailto:takarabune2024.info@artplatform.jp)（三浦・中村）

TEL 090-6138-4821（三浦）、090-2143-5243（中村）／FAX：048-885-7859（三浦）

\*「TAKARABUNE 2022、2023、2024」の各記録集は、SMFのホームページ <http://artplatform.jp> で公開しています。必要に応じてご参照ください。

（それ以前の宝船展はアート長屋 <http://artnagaya.jp/> のSMFアート物置参照）